

市内210例目（県内367例目）の概要

令和3年5月7日公表

5月6日に実施した新型コロナウイルス感染症の検査の結果、新たに1名の方、市内210例目（県内367例目）となる感染者が確認されました。

居住地及び発症日、症状につきましては、別紙「新型コロナウイルス感染症の発生について」をご参照ください。

年齢・性別につきましては、本人の意向により公表を差し控えさせていただきます。

5月6日に、本人から松江保健所に寄せられた、県外感染者の濃厚接触者であるとの相談などから、同日にPCR検査を行った結果、陽性であることが判明いたしました。

この方は、保健所の指導の下に自宅で待機し、本日5月7日、感染症対策を講じた県内の医療機関に入院される予定です。

現在、喉の違和感の症状がありますが、軽症とのことです。

発症日2日前、5月2日以降が感染可能期間となりますが、4日まで県外に滞在されており、昨日6日の陽性判明までの間、市内において不特定多数の方への感染の恐れがあるような行動歴はなく、現時点で聞き取り調査により接触者は把握できています。

今後も調査結果を踏まえ、必要な検査を実施するなど、引き続き感染拡大の防止を図ってまいります。

さて、大型連休も終わり、仕事や学校が始まりました。もしも発熱や咳などの体調不良を感じられた場合には、まず休んでいただくことが、感染拡大の防止につながる大切な行動です。

また、家庭内にあっても、部屋を分ける、換気する、マスクをつけるなどの基本的な感染予防策をとるよう注意しましょう。

そして自己判断せず、すぐにかかりつけ医に相談・受診する、積極的に検査を受けるなど、万一来た対応をお願い申し上げます。

市民の皆様には、大切な家族や友人を守るためにも、感染防止の基本である「フィジカルディスタンスの確保」「手洗いの励行」「マスクの着用」の徹底や「三密の回避」をはじめとする「感染しない、させない」ための取り組みに引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する可能性があります。患者やその関係者また医療関係者を励まし、応援する思いやりの心を持っていただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。